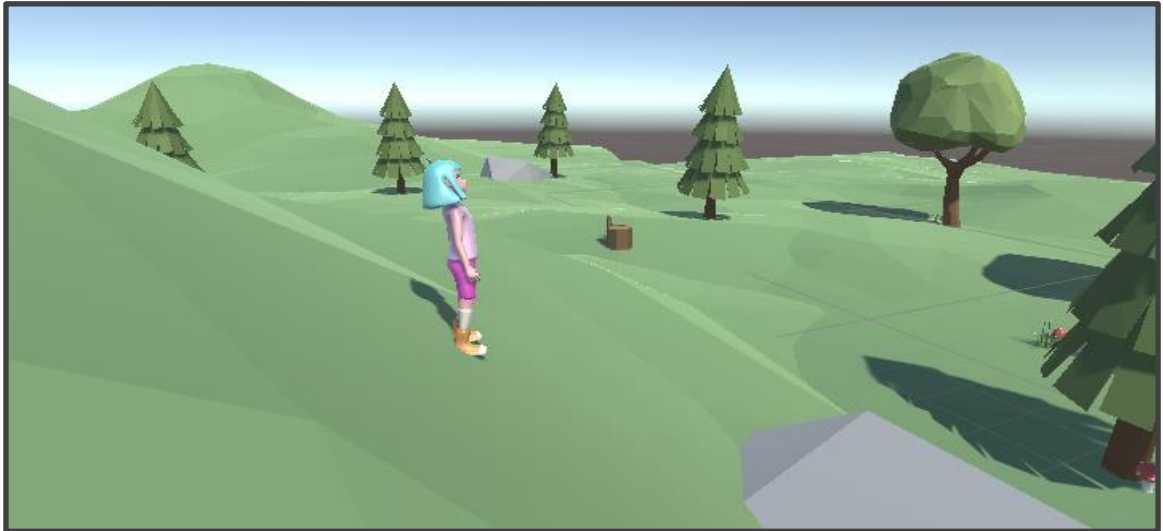
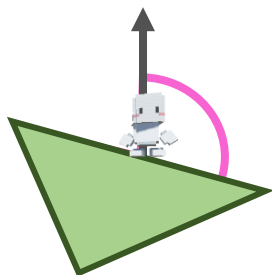


## 傾斜のベクトルと角度

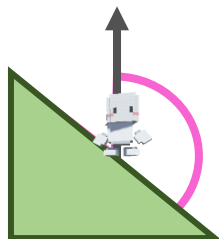
傾斜のベクトルを把握することができれば、  
傾斜の角度によって、坂道を滑り落ちる表現であったり、  
下り坂だったら移動速度を上げ、坂道だったら上げたりすることができます。



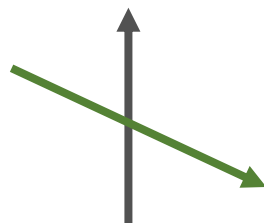
傾斜の角度とは(ピンクの線)



角度が小さい  
= 緩やかな坂

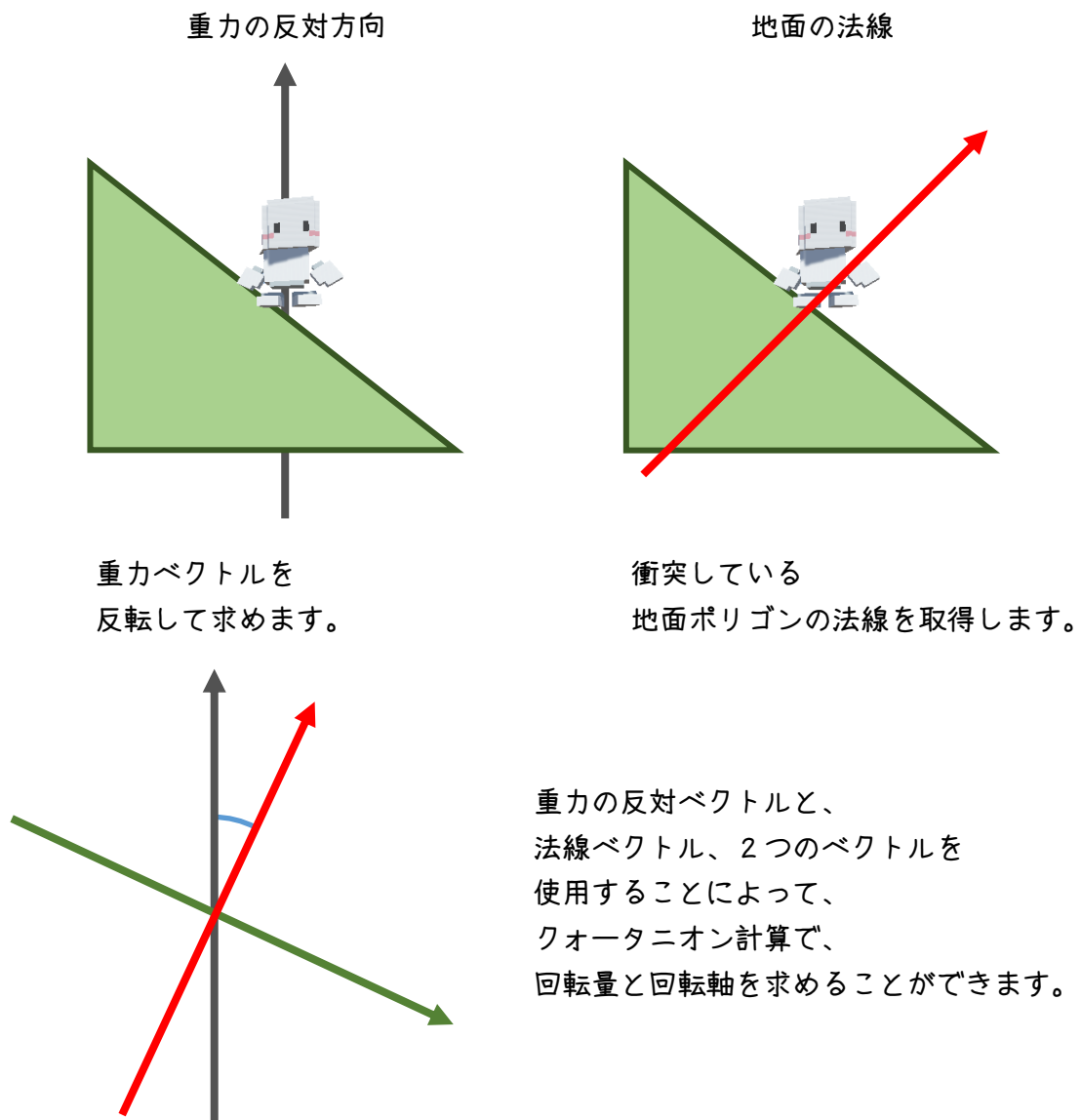


角度が大きい  
= 急な坂



2つのベクトルから、  
角度を求める式があるので、  
重力の反対ベクトルと、  
下り坂ベクトルがあれば良い。

傾斜の角度を求めるにあたり、確実に取得できる情報を整理します。



```
VECTOR gravityUp = grvMng_.GetDirUpGravity();
```

```
// 重力の反対方向から地面の法線方向に向けた回転量を取得
```

```
Quaternion up2GNorQua = Quaternion::FromToRotation(gravityUp, hitNormal_);
```

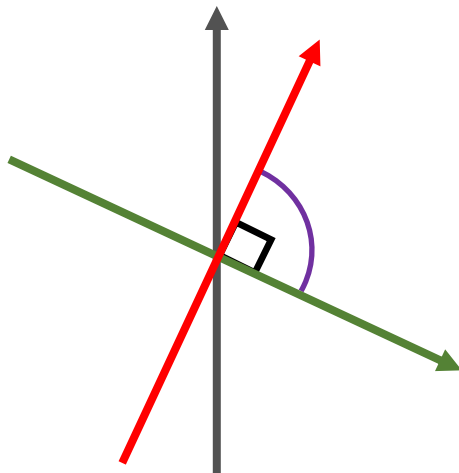
```
// 取得した回転の軸と角度を取得する
```

```
float angle = 0.0f;
```

```
float* anglePtr = &angle;
```

```
VECTOR axis;
```

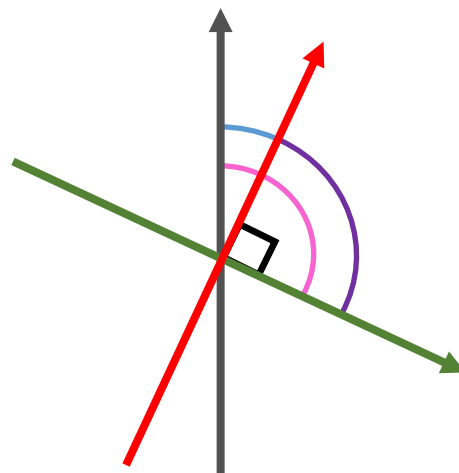
```
up2GNorQua.ToAngleAxis(anglePtr, &axis);
```



ポリゴンの法線は、  
ポリゴンの面に対して、垂直です。

今はベクトルが不明ですが、  
緑の傾斜ベクトルと  
赤の法線ベクトルの角度差は、

垂直ですので、当然、90度です(紫の角度)。



重力の反対ベクトルと、法線ベクトル  
から求めた角度に90度を足した角度分、  
重力の反対ベクトルから、法線ベクトルへの  
回転軸で回転させると、  
傾斜ベクトルを取得することができます。

あとは、重力の反対ベクトルと  
傾斜ベクトルを使用して、  
角度差を求めると、傾斜角を求めることが  
できます。

```
void Player::CalcSlope(void)
{
```

```
    VECTOR gravityUp = grvMng_.GetDirUpGravity();
```

```
    // 重力の反対方向から地面の法線方向に向けた回転量を取得
```

```
    Quaternion up2GNorQua = Quaternion::FromToRotation(gravityUp, hitNormal_);
```

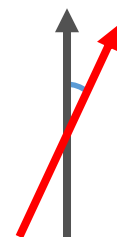
```
    // 取得した回転の軸と角度を取得する
```

```
    float angle = 0.0f;
```

```
    float* anglePtr = &angle;
```

```
    VECTOR axis;
```

```
    up2GNorQua.ToAngleAxis(anglePtr, &axis);
```



```

// 90度足して、傾斜ベクトルへの回転を取得する
Quaternion slopeQ = Quaternion::AngleAxis(
    angle + AsoUtility::Deg2RadD(90.0), axis);

// 地面の傾斜線(黄色)
slopeDir_ = slopeQ.PosAxis(gravityUp);

// 傾斜の角度
slopeAngleDeg_ = static_cast<float>(
    AsoUtility::AngleDeg(gravityUp, slopeDir_));

// 傾斜による移動
if (AsoUtility::SqrMagnitude(jumpPow_) == 0.0f)
{
    float CHECK_ANGLE = 120.0f;
    if (slopeAngleDeg_ >= CHECK_ANGLE)
    {
        float diff = abs(slopeAngleDeg_ - CHECK_ANGLE);
        slopePow_ = VScale(slopeDir_, diff / 3.0f);
        movePow_ = VAdd(movePow_, slopePow_);
    }
}
}

```

